

耐震補強工法

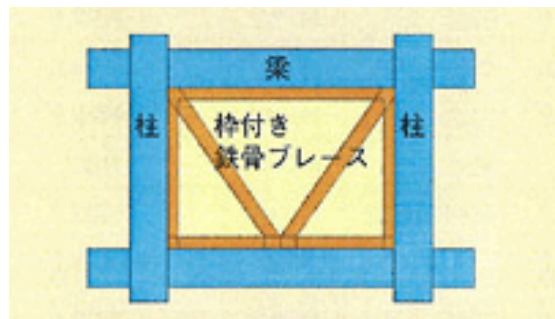
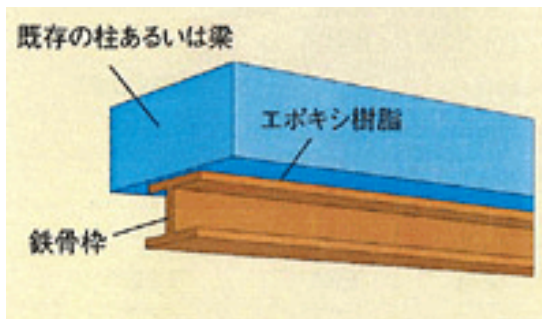
鉄骨ブレース接着工法

◎ 工法の概要

鉄骨ブレース接着工法は、フレーム内に枠付き鉄骨ブレースを設置する工法で梁、柱にアンカーボルトを取付けず、鉄骨枠を躯体に直接、エポキシ樹脂にて接着します。標準設計注入厚=20mmであり、アンカーボルト、スタッド、スパイラル筋、無収縮モルタルは不要です。

本工法は(株)竹中工務店より実施許諾を受けており、(財)日本建築防災協会の技術評価更新(建防災発第12100号平成25年1月)を取得しております。また、国土交通省新技術情報システム(NETIS・CB-020033)にも登録しております。

◎ 主な特長



1. 低騒音・低振動及び短工期で容易な施工

- ・ アンカーボルトが不要なので、低騒音・低振動であり、粉塵も発生しません。アンカーの穿孔工事がないので、躯体中の埋込み配管を傷つける心配がありません。
- ・ 工程が少なく、工期の短縮が可能です。在来工法で1箇所当り・14日程度のところ、本工法では10日程度で完了します。
- ・ 鉄骨工事とエポキシ樹脂注入工事のみであり、施工は単純化しています。

2. 広範な適用対象

- ・ 補強は建築年代、鉄筋種別(丸鋼、異形鉄筋)、構造種別(RC造、SRC造)などあらゆる建物に適用可能です。
- ・ 特にSRC造の場合、在来工法ではアンカーが内部鉄骨に当り埋込み深さが確保できないことが多いが、本工法はアンカーレスであり、内部鉄骨を傷つける心配がありません。

3. 大きな補強効果と高い信頼性

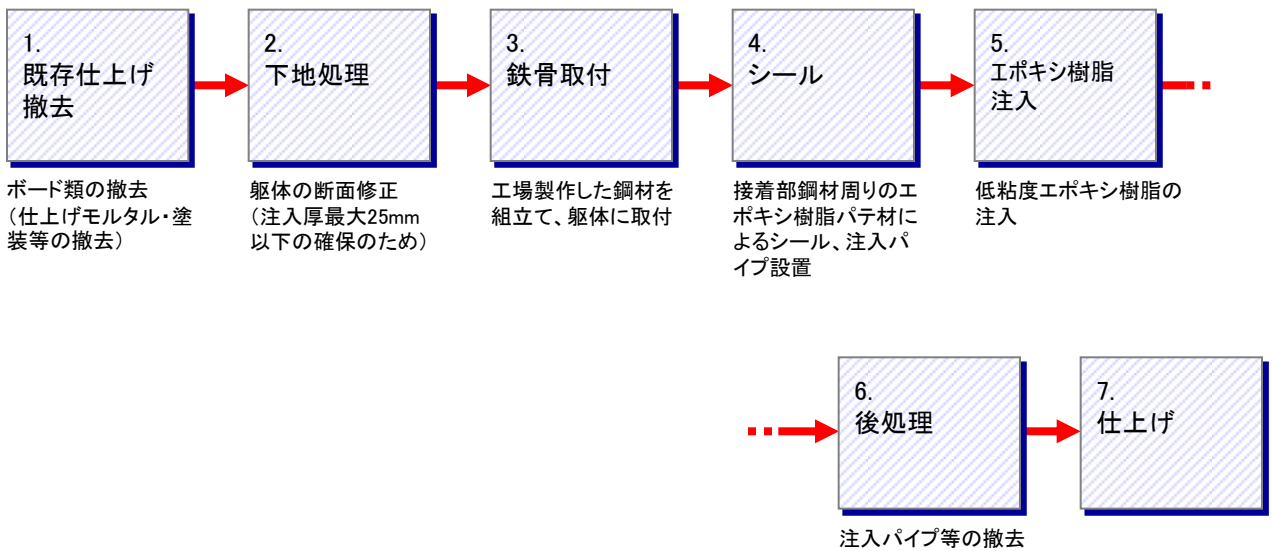
- ・ 建物の耐震性能を向上させることができ、評価方法が確立されています。
- ・ 施工管理体制も整っております。

4. (財)日本建築防災協会・技術評価更新後の主な変更点

- ・ 出入り開口付き鉄骨ブレース及び斜材のない鉄骨フレームが追加され、広範な用途に対応できるようになりました。但し、この場合、厚板鋼板が必要になり、その鋼板座屈防止用のアンカー工事が不可欠となります。

● 施工方法

鉄骨ブレース接着工法は、以下の施工フローで実施します。



● 使用材料

- シール材 … トーホーダイトS930(エポキシ樹脂製品)
- エポキシ樹脂注入材 … トーホーダイトCP300T(エポキシ樹脂製品 低発熱型 低臭気タイプ)
… トーホーダイトCP300TH(エポキシ樹脂製品 耐熱型)
- 断面修正材 … 打継材+PCM(ポリマーセメントモルタル)

● 施工例



株式会社東邦アーステック
建設事業本部

〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目13-10 武蔵野ビル
TEL 03-5367-2661(代) FAX 03-5367-2666

大阪 TEL 06-6886-8221(代)
FAX 06-6886-8228

名古屋 TEL 052-741-0321(代)
FAX06-6886-8228

博多 TEL 092-287-9623(代)
FAX 06-6886-8228

新潟 TEL 025-377-2711(代)
FAX 025-377-2714

仙台 TEL 022-781-5121(代)
FAX 022-781-5124